

尾川 休耕田生かし活性化 佐川町



県大生と住民ら協議

【佐川】高岡郡佐川町本郷耕の集落活動センター「たいこ岩」でこのほど、高知県立大

地域の盛り上げる休耕田の使い方について語り合う高知県立大生と住民ら（佐川町の集落活動センター「たいこ岩」）

を話し合った。

住民団体「尾川地区活性化協議会」の主催。県大の学生団体「活輝創生実行委員会」も協力して年1回開いており、3回目。今回は22日、過去の話し合いで若い世代を地域活動に巻き込む一案として出ていた休耕田の活用を議題にした。参加者からは「非常食となる野菜の栽培としては「農地を借りた人と貸し手をつなぐ

ために、人となりを知り合う飲み会や祭りを設けてほしい」といった声のほか、田植えレースやどろんこアート展などのイベント案が出た。

同協議会と同委員会 は意見も踏まえ、休耕田を活用したイベントの開催を目指すという。県大2年の松浦明日香さん(20)は「若い世代の意見ももらいながらイベントをつくることで、新しい層の人たちが参加してくれるきっかけになれば」と期待していた。

(森田千尋)